

EM蘇生カレッジ「新しい時代の教養」EMオープンワールド'05 大会報告

神石EMパワー！参加者200名超

7月16～17日の2日間に渡って、神石高原町にてEMオープンワールド'05が開催されました。参加者は200名を超え、広島県内を中心とした多くの活動者が連帯と活用への意欲を深めるきっかけとなりました。

1日目

「まちづくり」の分野の事例発表では、尾道市向島商工会女性部の安保佐智子氏より、川の浄化活動から始まった、まちづくりの事例が発表されました。

比嘉教授による講義「新しい時代の教養」では、生きる教養、EMを使う上での心構え、EMの原理を中心とした解説から、スライドによる事例紹介という流れでした。

今回は特に、重金属類や放射能の害が抑制される非イオン化作用、電磁波等の有害エネルギーを回収する重力波に重点を置いての解説となり、前年までの抗酸化作用の説明を中心としたものからさらに進んだ内容の講義になりました。

スライドでは前年紹介の事例に加え、道頓堀・神龍湖・世羅のゆう食品(卵業)が新たに紹介されました。

農業分野の事例発表では、神石高原町の池田博信氏より、町で広がる農業でのEM活用の現状が紹介されました。

福祉分野の事例発表では、県内最大級のEMボカシ供給拠点でもある、世羅町の授産施設「みつば会」の信時敬子所長より、施設のあゆみと現状、製造の工程等が発表されました。

そして終了後の懇親会では、帝釈峡の深い自然の中で80名以上が大いに歓談・交流し、互いの連帯感を一層深めました。

初の山間部での開催でありながら、前年度尾道での開催に劣らない数の参加者がありました。さらに、参加者・スタッフの熱意と内容の質は前年を大きく上回るものでした。これも、宮野氏(当会理事長)・藤井氏を中心とした、神石高原町の熱意溢れる人々の願いが現実となったものと確信しております。

参加者のみなさま、発表者を始め大会運営にご協力いただいた方々、遠路はるばるご足労いただいた比嘉教授ご夫妻、ならびに一丸となってこの大会を作り上げた神石高原町のスタッフ一同に、心より感謝申し上げます。

2日目

比嘉教授による講義「EMの最新情報」では、水処理と堆肥化における、好気性細菌による酸化型分解と、EMによる発酵型分解の違いについて解説が行われました。また、新EM-Xの特徴と効果的な服用方法、セラミックスの効用と最新情報(自動車への応用が中心)が紹介されました。

1つ目の環境分野の事例発表では、太田川の浄化活動の成果が発表されました。

2つ目の環境分野の事例発表では、シャボン玉石けん株式会社の高橋専務より、合成洗剤の危険性・シャボン玉石けんの歴史・EM石けん誕生の経緯についての発表が行われました。

教育分野の事例発表では、尾道市高見小学校の5年生が一クラス全員で登場し、生徒自身による活用事例の発表が行われました。この発表はその場に居合わせた多くの人々に感動を与えました。

終了後は神龍湖の視察があり、見学者は遊覧船に乗り、浄化の進んだ湖の説明を受けました。魚の群れが増え、泡の立たなくなった綺麗な湖面に、多くの見学者が浄化作戦の効果を実感したようです。